

平成26年度 事業報告書

自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日

一般財団法人 日本ボクシングコミッション

1 業務管理について

- (1) JBCルールブックの改正
素案は完成、今後はJPBAとの調整後、有識者会議に上程。
- (2) JBC職員の各種規則・規定の改定、整備をする。
ルールブック施行後に着手。
- (3) 業務管理の適正化を推進する。
領収書の徹底、稟議書、伺書の標準化等を実施。

2 試合の運営管理に関して

- (1) 世界(男子 20/女子 13/ユース男子 5)、東洋太平洋(男子 25/女子 7)、日本(31)のタイトルマッチ及びその他合計 212 興行 (1670 試合) の試合管理を行う。
- (2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスの発給。
ライセンスの発行数 4,227 名 (内：外国人ボクサー190 名)
(内訳) ボクサー(2,340 内女子 115 名)、プロモーター(81)、クラブオーナー(271)、マネージャー(377)、トレーナー(573)、セコンド(376)、マッチメーカー(5)、レフェリー(105)、タイムキーパー(12)、アナウンサー(9)、ドクター(68)、進行(10)。
- (3) プロボクサー新人テスト実施
《男子》受験者総数(C級)：573 名 合格者：433 名 (合格率 75.5%)
〃 (B級)：9 名 9 名 (合格率 100%)
《女子》受験者総数(C級)：22 名 合格者：20 名 (合格率 90.9%)
- (4) 日本ランキング決定、発表 (月例)
- (5) 試合役員研修会 (東京地区月日他原則毎月、他 4 地区は随時)
採点基準、レフェリング (反則処置)、事故防止他。

3 安全防護に関して

- (1) JBC・JPBA医事講習会(7月7日、於・後樂園ホール5F展示会場)
【講師】：谷諭医師 東京慈恵会医科大学脳神経外科教授
『急性硬膜下血腫について』
野中雄一郎コミッションドクター 東京慈恵会医科大学病院脳神経外科
『ボクシングと脳震盪』
高妻容一講師 東海大学体育学部教授
『勝つ為のメンタルトレーニング～指導者編～』
リング事故の代表的症例である「急性硬膜下血腫」について分かりやすい画像及び丁寧な解説により改めてそのメカニズムが講義された。リング事故の発生傾向として、重量級より軽量級が多く、より長いラウンドのしかも後半に発生することが多いことが説明された。また脳の揺れにより発生する脳震盪についても詳細な説明がなされた。
(参加者 113 名。)
- (2) リング事故

福原寛人（江見）：4月6日美作文化センターにおいて、アドニス・アゲロ（フィリピン）との8回戦で8ラウンドTKO敗後、急性硬膜下血腫にて緊急入院。開頭手術などは行わず、約2週間の加療で退院。

4 国際交流について

(1) ホセ・スライマン WBC 会長告別式

(2月10日、メキシコ・メキシコシティ)

(出席者) JBC 関係：浦谷信彰 JBC 本部事務局長代行

JPBA 関係：本田明彦（帝拳）

(2) IBF（国際ボクシング連盟）第27回年次総会

(5月18日～5月22日、アメリカ・ニュージャージー州アトランティックシティ)

協議事項

*IBF会長選（ダリル・ピープルズ会長の再選）

*リングオフィシャルセミナー

*スーパーバイザー&医学セミナー

*ランキング委員会

(出席者) JBC 関係：島川威 原田武夫 中村勝彦

JPBA 関係：枝川孝（六島）、鈴木真吾（角海老宝石）

中屋一生（八王子中屋）他

(3) WBO（世界ボクシング連合）第27回年次総会

(10月28日～11月1日、アメリカ・ネバダ州ラスベガス)

協議事項

*チャンピオンシップ報告

*リングオフィシャルセミナー

*スーパーバイザー&医学セミナー

*ランキング委員会

(出席者) JBC 関係：島川威 原田武夫 中村勝彦 村瀬正一

JPBA 関係：平山靖（フューチャー）、中屋一生（八王子中屋）

三迫貴志（三迫）他

(4) WBC（世界ボクシング評議会）第52回年次総会

(12月14日～12月18日、アメリカ・ネバダ州ラスベガス)

協議事項

*リングオフィシャルセミナー

*各地域総会

*ランキング委員会

*指名挑戦者確認

*その他（袴田巖氏の釈放について WBC から報告）

(出席者) JBC 関係：秋山弘志理事長 森田健本部事務局長 福地勇治

JPBA 関係：大橋秀行日本プロボクシング協会長 本田明彦（帝拳）
新田渉世（川崎新田）、鈴木真吾（角海老宝石）
ジョー小泉（リングジャパン）、中屋一生（JPBA）他
宮崎久利

(5) OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）52 回年次総会
（12 月 15 日、WBC 総会同所）

- *OPBF 本部国移行について 平成 27 年 1 月より日本から比国に本部国が移行されることとなった。
- *各種報告
- *フリーディスカッション

(6) その他

- *WBA、WBC、IBF、WBO、OPBF、並びに各国コミッション関係者との交流(役員来日時随時)
- *海外でのタイトルマッチに役員派遣
- *国際問題の処理について
- *海外遠征並びに来日選手の各種試合契約の承認について

5. ボクシング功労者の表彰について

(1) 平成 26 年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式。

1 月 23 日東京ドームホテル

プロの部 9 部門（18 名） アマの部 6 部門（8 名）

(2) 世界王者獲得並びに各種チャンピオンの引退、他功労表彰について。

[引退]

- *元WBA 世界スーパー・フライ級チャンピオン 名城信男（六島）引退。
- *元WBA 世界スーパー・バンタム級チャンピオン 李冽理（横浜光）引退。
- *元WBO 女子世界ミニ・フライ級チャンピオン 山田真子（博多協栄）引退。
- *元OPBF 女子スーパー・フライ級チャンピオン 川西友子（大阪帝拳）引退。

[獲得]

- *WBA 世界スーパー・フライ級チャンピオン 河野公平（ワタナベ）獲得
- *WBC 世界ライト・フライ級チャンピオン 井上尚弥（大橋）獲得
- *WBO 世界スーパー・フライ級チャンピオン 井上尚弥（大橋）獲得
- *WBC 世界ライト級チャンピオン ホルヘ・リナレス（帝拳）獲得
- *WBA 世界ライト・フライ級チャンピオン 田口良一（ワタナベ）獲得
- *WBO & IBF 世界ミニマム級チャンピオン 高山勝成（仲里）獲得
- *WBO 女子世界ミニ・フライ級チャンピオン 山田真子（博多協栄）獲得
- *WBC 女子世界ミニ・フライ級チャンピオン 黒木優子（Yoko フィットネス）獲得
- *WBO 女子世界アトム級チャンピオン 池山直（フューチャー）獲得

*WBO女子世界ミニ・フライ級チャンピオン 池原シーサー久美子（フューチャー）獲得

(3) JBC 試合役員等功労表彰

6. 広報普及について

(1) ボクシング広報（月刊）

(2) ボクシング年鑑

(3) U-15 ボクシング全国大会開催

（平成 26 年 9 月 7 日、東京・後樂園ホール、参加者 100 名）

7. 選手記録（戦績、診断の両記録カード）、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存（継続）

8. その他

(1) 理事会

*平成 26 年 2 月 25 日（火）

*平成 26 年 12 月 19 日（金）

(2) 評議員会

*平成 26 年 2 月 25 日（火）

(3) 物故者

織田秀樹（中日ジム会長）1 月 2 日死去（71 歳）

牧昭男（元東洋日本スーパー・バンタム級王者）4 月 26 日死去（78 歳）

久末聖治（JBC 北海道事務局長）（68 歳）

(4) 紛争処理

(5) 合同会議

JBC、JPBA

(6) アマチュア関係者との協議

年間優秀選手表彰選考。アマチュアとの交流について。

(7) 処分

①新美辰二（鈴鹿ニイミ：プロモーター）厳重注意処分（5 月 26 日付）

平成 26 年 5 月 25 日、亀山市の試合において試合直前まで会場に姿を現さず、試合開始時間を 15 分遅れさせたことにより混乱を招いた。

②加山利治（EBISU's BOX：クラブオーナー）厳重注意処分（5 月 29 日付）

自ジム所属選手の女子ボクサーに袖のある上着を着用させ試合をさせた。

③上村和宏（ワタナベ：ボクサー）厳重注意処分（7 月 22 日付）

平成 26 年 7 月 1 日の試合前日計量において 0.8kg 体重超過し計量失格となった。

④渡辺均（ワタナベ：クラブオーナー・マネージャー）厳重注意処分（7 月 2 日付）

前項(c)の事案につき、クラブオーナーとしての監督責任は免れない。

⑤一色隆徳（SFマキ：ボクサー）厳重注意処分（7 月 7 日付）

平成 26 年 6 月 13 日の試合前日計量において 1.8kg 体重超過し計量失格となった。

- ⑥沖由美（SFマキ：マネージャー） 厳重注意処分（7月7日付）
前項⑤の事案につき、マネージャーとしての監督責任は免れない。
- ⑦重江誉寛（真正：ボクサー） 厳重注意処分（7月7日付）
平成26年6月13日の試合前日計量において0.8kg体重超過し計量失格となった。
- ⑧江藤日出典（真正：マネージャー） 厳重注意処分（7月7日付）
前項⑦の事案につき、マネージャーとしての監督責任は免れない。
- ⑨増田靖之（石神井スポーツ：ボクサー）
平成26年8月9日よりボクサーライセンスの1年間停止処分（8月28日付）
平成26年8月9日、理由を告げずに規定の時刻までに公式計量会場に現れず失踪し、予定されていた試合をキャンセルせしめた。
- ⑩奥田喜久二（石神井スポーツ：クラブオーナー） 厳重注意処分（8月28日付）
前項⑨の事案につき、クラブオーナーとしての監督責任は免れない。
- ⑪松尾敏郎（緑：クラブオーナー）
平成26年9月10日よりクラブオーナーライセンスの3ヶ月停止処分（10月20日付）
平成26年9月10日、東京・後樂園ホールにて行われた試合において、レフェリーの裁定を不服とし、試合終了後、観客の注目するリング上においてレフェリーの背中を数回叩く抗議に及んだ。
- ⑫野村和矢（山籠：ボクサー） 厳重注意処分（12月8日付）
平成26年12月6日の試合前日計量において0.9kg体重超過し計量失格となった。
- ⑬原子義朗（山籠：クラブオーナー） 厳重注意処分（12月8日付）
前項⑫の事案につき、クラブオーナーとしての監督責任は免れない。